

# シュローダー・エマーシング株式ファンド(3ヵ月決算型)

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第66期(決算日2023年8月15日)

第67期(決算日2023年11月15日)

作成対象期間(2023年5月16日～2023年11月15日)

第67期末(2023年11月15日)	
基準価額	10,548円
純資産総額	283百万円
第66期～第67期	
騰落率	11.6%
分配金(税込み)合計	610円

(注) 騰落率は期末の基準価額に分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記の委託会社のホームページの「投資信託一覧」から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「シュローダー・エマーシング株式ファンド(3ヵ月決算型)」は、このたび第66期～第67期の決算を行いました。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてエマーシング株式市場において、割安かつ成長期待のある企業の株式に投資することにより長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期におきましても、当該運用方針に沿った運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3  
丸の内トラストタワー本館21階

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日は除く)
- ・インターネットホームページ <http://www.schroders.co.jp/>

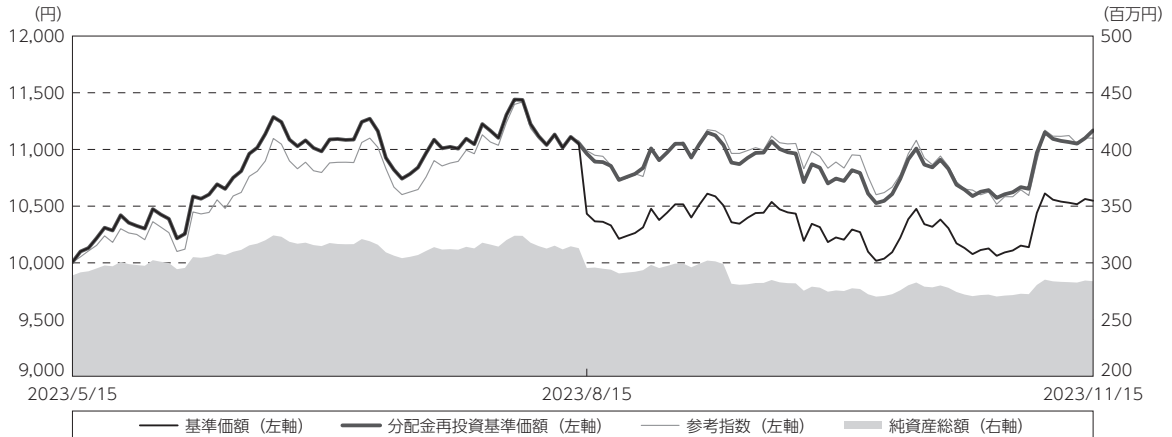
# Schroders

シュローダー・インベストメント・マネジメント

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

（2023年5月16日～2023年11月15日）



第66期首：10,006円

第67期末：10,548円（既払分配金（税込み）：610円）

騰落率：11.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、作成期首（2023年5月15日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの参考指数は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は後述をご参照ください。

### ○基準価額の主な変動要因

当作成期首10,006円でスタートした基準価額は、10,548円（分配後）で当作成期末を迎え、当作成期首比11.6%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。一方、参考指数であるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、10.9%の上昇で、当ファンドは、参考指数を0.7%上回りました。

当作成期、ファンドのリターンはプラスとなりました。通貨タイ・パーツが軟調に推移したこと等が重しとなったタイの保有等が下落要因となったものの、財政に対する懸念の緩和や金利の引き下げ、経済指標の改善等が支援材料となったブラジルの保有等が上昇要因となりました。

1万口当たりの費用明細

（2023年5月16日～2023年11月15日）

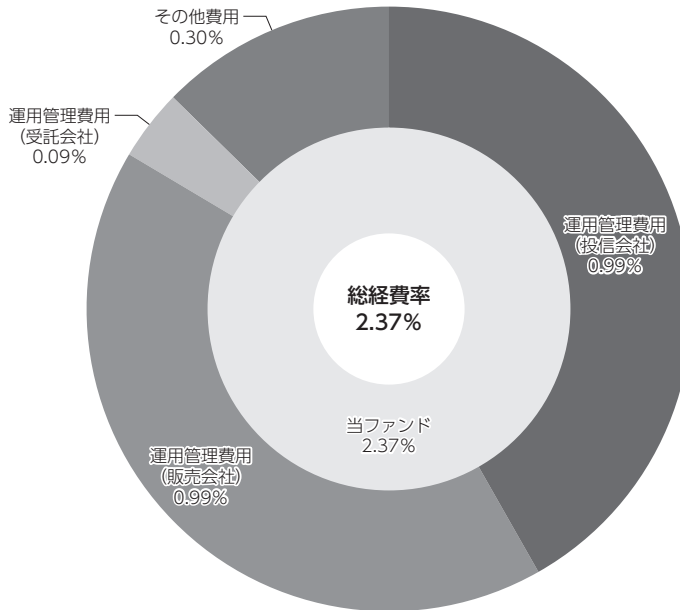
項 目	第66期～第67期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	110 ( 53 ) ( 53 ) ( 5 )	1.040 (0.498) (0.498) (0.044)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率  ・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等 ・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	4 ( 4 )	0.033 (0.033)	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	4 ( 4 )	0.036 (0.036)	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 ) ( そ の 他 )	16 ( 12 ) ( 1 ) ( 1 ) ( 1 )	0.150 (0.112) (0.013) (0.014) (0.010)	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数  ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI:Legal Entity Identifier）登録費用、金銭信託手数料、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合 計	134	1.259	
作成期間の平均基準価額は、10,601円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。  
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.37%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

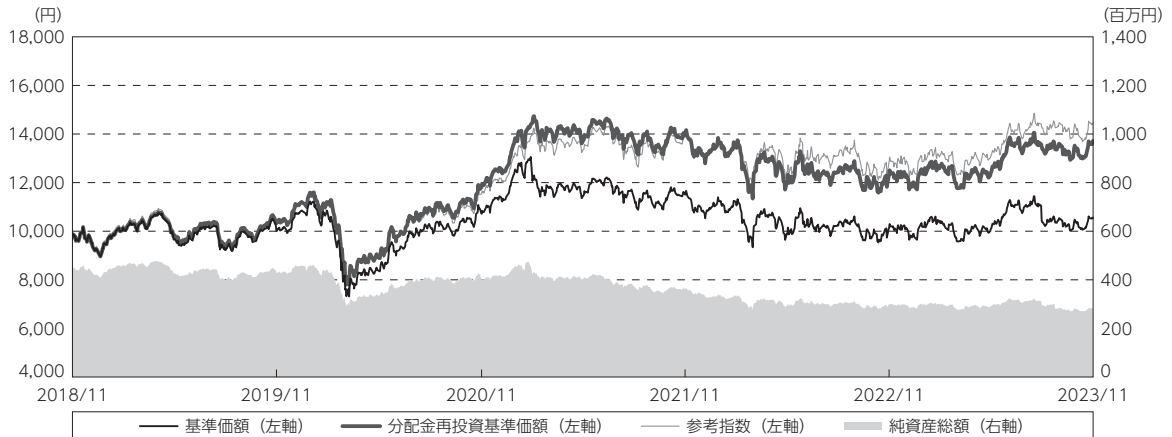
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年11月15日～2023年11月15日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年11月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年11月15日 決算日	2019年11月15日 決算日	2020年11月16日 決算日	2021年11月15日 決算日	2022年11月15日 決算日	2023年11月15日 決算日
基準価額 (円)	9,728	10,002	10,716	11,502	10,139	10,548
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	320	700	1,200	0	730
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.2	14.4	18.2	△ 11.9	11.4
参考指数騰落率 (%)	—	5.6	12.3	20.2	△ 7.4	12.5
純資産総額 (百万円)	443	426	399	362	298	283

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの参考指数は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) です。詳細は後述をご参照ください。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

**投資環境**

（2023年5月16日～2023年11月15日）

当作成期、エマージング株式市場は上昇して終わりました。中国の景気回復が想定より軟調だったことや、不動産セクターに対する懸念等が重しとなる局面もあったものの、2023年7月末にチリが金利を引き下げたことに端を発したエマージング諸国における金融緩和の開始等が支援材料となりました。

株式市場別では、ハンガリーは、政策金利の引き下げ等が支援材料となり、株式市場は上昇しました。ポーランドは、利下げに加え、2023年10月に行われた選挙においてトゥスク元首相が率いる「市民連立」支持派が与党を退け、勝利したこと等が支援材料となり、株式市場は上昇しました。ブラジルは、財政に対する懸念の緩和や金利の引き下げ、経済指標の改善等が支援材料となり、株式市場は上昇しました。インドは、経済指標の改善に加え、緩和的な金融政策が維持されるとの見方が強まったこと等が支援材料となり、株式市場は上昇しました。台湾は、AIに対する期待感の高まり等を背景にテクノロジー銘柄が堅調に推移したこと等が支援材料となり、株式市場は上昇しました。中国は、経済回復が軟調なことや、不動産セクターに対する懸念等が重しとなる局面もあったものの、作成期末にかけて景気刺激策の実施や経済回復の兆しが見られ始めたこと等が支援材料となり、株式市場は上昇しました。

一方、タイは、通貨タイ・バーツが軟調に推移したこと等が重しとなり、株式市場は下落しました。（株式市場の騰落は、円ベースで記載しております。）

**当ファンドのポートフォリオ**

（2023年5月16日～2023年11月15日）

当ファンドが主要投資対象としているシュローダー・グローバル・エマージング株式マザーファンドの運用について

当作成期、ポートフォリオでは、中国は、株価が適正水準にあること等を評価し、保有比率を引き上げました。韓国は、株価水準は魅力的であると評価している一方、グローバルの経済成長に対する短期的な懸念等を材料視し、保有比率を引き下げました。

従前より当ポートフォリオではロシア株式の保有は限定的であるものの、現時点において保有するロシア株式（預託証券を含む）については、足元の社会環境・市場環境を受けて、当社では評価額をゼロとして報告をしております。

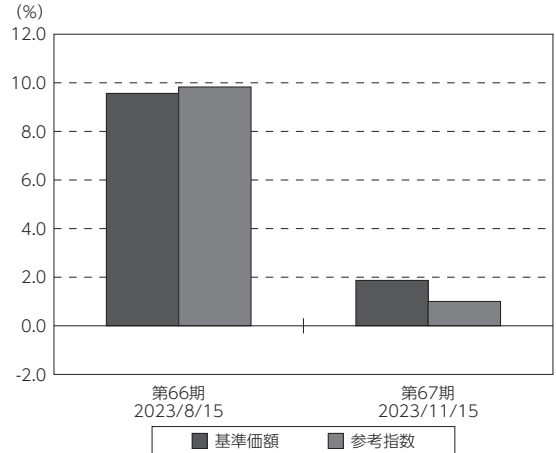
## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年5月16日～2023年11月15日）

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマークは設けておりません。

基準価額と参考指数の対比は、右図の通りです。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。  
 (注) 当ファンドの参考指数は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は後述をご参照ください。

## 分配金

（2023年5月16日～2023年11月15日）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、第66期は、1万口当たり課税前で530円、第67期は、1万口当たり課税前で80円とさせていただきます。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第66期	第67期
	2023年5月16日～ 2023年8月15日	2023年8月16日～ 2023年11月15日
当期分配金	530	80
（対基準価額比率）	4.834%	0.753%
当期の収益	101	28
当期の収益以外	428	51
翌期繰越分配対象額	2,244	2,195

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

米国の経済指標は予想以上に底堅く、特に2023年7-9月期の実質国内総生産（GDP）は堅調な結果となり、世界の経済成長を下支えしました。2024年に向けては依然として景気減速が予想されるものの、米国経済の現在の堅調さを勘案すると、その程度は不透明です。

米国における金融引き締めはピークに達しているとの見方が強まっています。金利上昇の運行効果が出てくるにつれ、ある程度経済成長は減速することが見込まれますが、先進国の経済成長の鈍化は、金利の低下および米ドルの下落や、米連邦準備制度理事会（FRB）による政策緩和の開始につながる可能性があります。このことは、新興国経済にとっては支援材料となるとみています。

新興国における物価上昇については、中東事情を背景にエネルギー価格の見通しが不透明となっていることや、エルニーニョ現象が食品価格に与える影響等のリスクもありますが、物価上昇ペースの鈍化は2024年も続くと予想され、これを背景に金融緩和の余地が生まれるとみています。

中国については、2023年7-9月期のGDPは不動産セクターは依然として軟調だったものの、消費と製造業の回復が牽引しました。2023年10月に発表された1兆人民元規模の追加支援策については評価しており、当局には経済成長を支えるための政策の柔軟性があるとみています。

不透明な中東情勢については、原油価格や米国の利回り、米ドルへ影響を及ぼすことが想定されることから注視が必要であると考えます。また、米中の地政学的緊張に加え、一部新興国で2024年に選挙が実施される予定であることも注視しています。

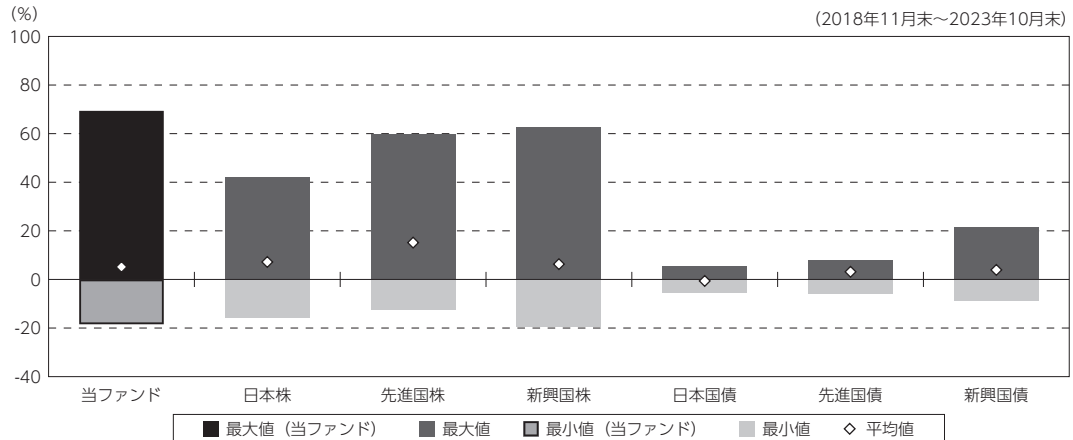
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の成長を目的に積極的な運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	シュローダー・グローバル・エマージング株式マザーファンド受益証券とします。
	シュローダー・グローバル・エマージング株式マザーファンド	MSCIエマージング・マーケット・インデックスの構成国の株式とします。
運用方法	マザーファンドへの投資を通じて、MSCIエマージング・マーケット・インデックスの構成国の株式を実質的な主要投資対象とします。実質外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。株式等の実質組入比率については、原則としてフルインベストメントで積極的な運用を行います。	
分配方針	毎決算時（毎年2月、5月、8月および11月の各15日、ただし当該日が休業日の場合は翌営業日）に、利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額の水準等を勘案し分配を行います。 なお、分配を行わない場合があります。	



(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	69.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 18.5	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	5.2	7.2	15.2	6.3	△ 0.6	3.1	3.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年11月から2023年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2023年11月15日現在)

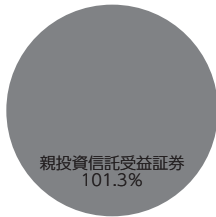
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第67期末
シュローダー・グローバル・エマージング株式マザーファンド	101.3%
組入銘柄数	1銘柄

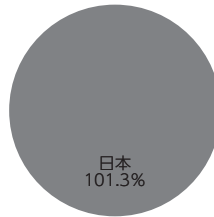
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

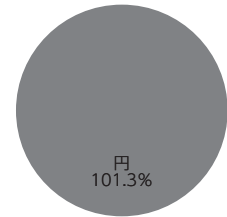
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

### 純資産等

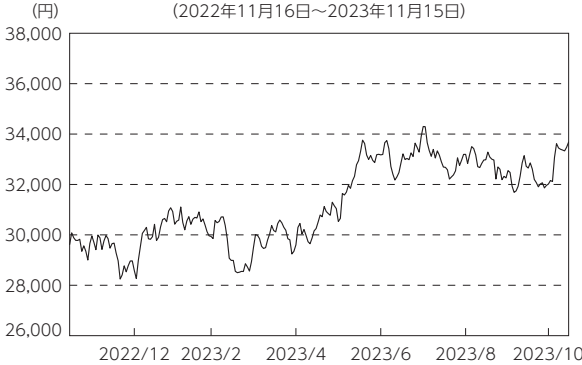
項 目	第66期末	第67期末
	2023年8月15日	2023年11月15日
純 資 産 総 額	295,414,316円	283,823,517円
受 益 権 総 口 数	283,161,369口	269,086,622口
1万口当たり基準価額	10,433円	10,548円

\* 当作成期間（第66期～第67期）中における追加設定元本額は4,081,664円、同解約元本額は23,725,348円です。

組入上位ファンドの概要

シュローダー・グローバル・エマージング株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年11月16日～2023年11月15日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	22 (22)	0.070 (0.070)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	25 (25)	0.080 (0.080)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	95 (61) (34)	0.305 (0.197) (0.109)
合計	142	0.455

期中の平均基準価額は、31,191円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(投資証券等を含む)が支払った費用を含みません。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

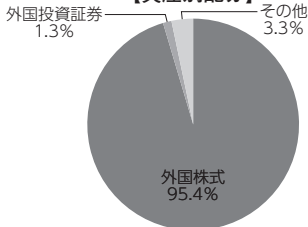
【組入上位10銘柄】

(2023年11月15日現在)

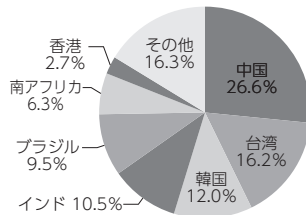
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	半導体・半導体製造装置	台湾ドル	台湾	9.6%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国ウォン	韓国	6.3%
3	TENCENT HOLDINGS LTD	メディア・娯楽	香港ドル	中国	4.7%
4	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	一般消費財・サービス流通・小売り	香港ドル	中国	3.3%
5	SK HYNIX INC	半導体・半導体製造装置	韓国ウォン	韓国	2.2%
6	ICICI BANK LTD	銀行	インドルピー	インド	2.0%
7	HDFC BANK LTD	銀行	インドルピー	インド	1.9%
8	AXIS BANK LTD	銀行	インドルピー	インド	1.7%
9	TATA CONSULTANCY SVCS LTD	ソフトウェア・サービス	インドルピー	インド	1.6%
10	ITAU UNIBANCO HLDNG-PREF ADR	銀行	米ドル	ブラジル	1.6%
	組入銘柄数		116銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。  
 (注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

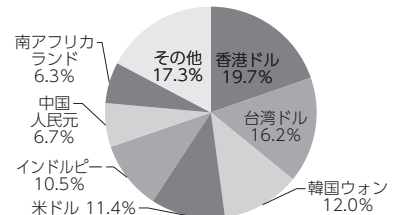
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。  
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## 〈当ファンドの参考指数について〉

当ファンドは、ベンチマークを設けておりません。

参考指数といたしまして、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）を記載しております。なお、当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドは、当該指数をベンチマークとしております。MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、エマージング諸国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。

当指数に関する著作権、およびその他知的所有権はMSCI Inc.に帰属しております。MSCI Inc.が指数構成銘柄への投資を推奨するものではなく、MSCI Inc.は当指数の利用に伴う如何なる責任も負いません。

MSCI Inc.は情報の確実性および完結性を保証するものではなく、MSCI Inc.の許諾なしにデータを複製・頒布・使用することは禁じられております。

## 〈代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について〉

### ○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### ○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

MSCIは、本資料に含まれるいかなるMSCIのデータについても、明示的・黙示的に保証せず、またいかなる責任も負いません。MSCIのデータを、他の指数やいかなる有価証券、金融商品の根拠として使用する、あるいは再配布することは禁じられています。本資料はMSCIにより作成、審査、承認されたものではありません。いかなるMSCIのデータも、投資助言や投資に関する意思決定を行うこと（又は行わないこと）の推奨の根拠として提供されるものではなく、また、そのようなものとして依拠されるべきものでもありません。